

2026年2月期
第3四半期

決算説明資料

2026年1月9日

バリオセキユア株式会社 | 証券コード：4494

INDEX

目次

1. 会社概要
2. 2026年2月期第3四半期 決算概要
3. 事業戦略

The background of the slide is a light blue and white gradient with a complex, futuristic circuit pattern. The pattern consists of thin, grey lines that branch out and connect various geometric shapes, including circles, squares, and rectangles. Some of these shapes are highlighted in a slightly darker blue or yellow. The overall effect is that of a high-tech, digital environment.

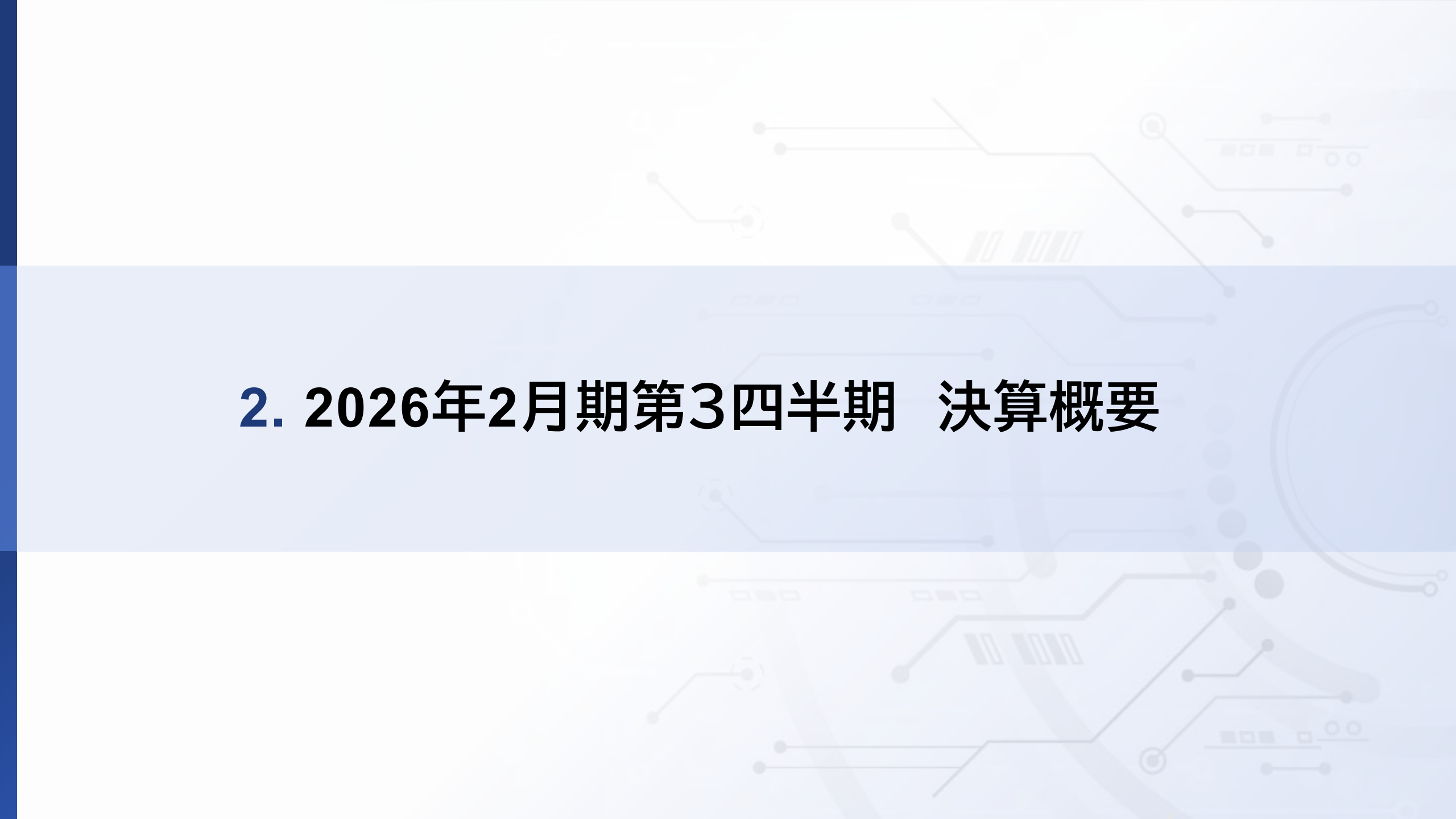
1. 会社概要

▶ 会社名	バリオセキュア株式会社（Vario Secure Inc.）			
▶ 創業	2001年6月21日			
▶ 代表者	代表取締役社長 斧江 章一			
▶ 資本金	7億5,179万円			
▶ 従業員数	85名※			
▶ 所在地	<p>本社 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-6 住友商事錦町ビル5F</p> <p>大阪オフィス 〒550-0014 大阪府大阪市西区北堀江1-2-19</p> <p>福岡営業所 〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東1-12-17</p>			
▶ 事業内容	セキュリティBPOサービス インテグレーションサービス			
▶ 役員構成	代表取締役社長	斧江 章一	取締役	永井 秀俊
	取締役	林 隆弘	取締役	井口 圭一
	取締役	森 博也		
	取締役監査等委員	畑 敬子	取締役監査等委員	高橋 可奈
	取締役監査等委員	森脇 基		
▶ 親会社	HEROZ株式会社(持ち株比率約42%)			
▶ Web	https://www.variosecure.net/			
▶ 認証	ITSMS(ISO20000)、ISMS(ISO27001)、プライバシーマーク			
▶ 取引先	代理店：アルテリア・ネットワークス株式会社、NJCネットコミュニケーションズ株式会社、株式会社オプテージ、KDDI株式会社、株式会社KDDIウェブコミュニケーションズ、ソフトバンク株式会社、ソニービズネットワークス株式会社、株式会社USEN ICT Solutionsなど			

※正社員、嘱託社員の合計

2025年11月末時点





2. 2026年2月期第3四半期 決算概要

売上収益については、主に原材料やエネルギー価格の高騰に起因するコストの増加に対処するための価格改定(価格転嫁)が寄与したことにより前年同期比で増収となり、営業利益および四半期利益については増益となりました。

重要な業績指標は安定的に推移しています。

決算ハイライト

IFRS (国際会計基準)

売上収益	営業利益	四半期利益
2,118 百万円 〔前年同期比 105.5% 〕	435 百万円 〔前年同期比 111.3% 〕	290 百万円 〔前年同期比 111.6% 〕

重要な業績指標

ストック型売上比率	エンドユーザー拠点数	解約率
87.8% 〔前年同期末比 +0.3pt 〕	7,687 拠点 ^{※1} 〔前年同期末比 +14 拠点〕	0.65% ^{※2} 〔前年と同水準〕

※1 エンドユーザー拠点数はVSRの拠点数

※2 3Q(3ヶ月)の解約率(金額ベース) = 四半期解約金額 ÷ (各年度の期初ベース月次売上収益 × 3ヶ月)

当第3四半期の業績は対前年同期比で増収増益を達成。

(百万円)	2025年2月期 第3四半期実績	2026年2月期 第3四半期実績	前年同期比増減
売上収益	2,007	2,118	5.5% (+ 110)
営業利益	391	435	11.3% (+ 44)
四半期利益	260	290	11.6% (+ 30)
一株当たり四半期利益(円)※1	57.66	64.33	+ 6.67
負債比率(%)※2	19.8%	15.4%	△4.4pt
自己資本比率(%)※3	76.7%	79.5%	+ 2.8pt

※1：一株当たり四半期利益(EPS)=四半期利益÷発行済み株式数

※2：負債比率=((短期借入金+長期借入金)÷自己資本)×100

※3：自己資本比率=(自己資本÷総資本)×100

IFRS (国際会計基準)

財政状態に大きな変化はなく、継続的な収益の積み上げと借入返済により、自己資本比率は増加しております。

(百万円)	2025年 2月期末	2026年2月期 第3四半期末	増減
資産合計	7,576	7,779	203
流動資産	1,568	1,792	224
非流動資産	6,008	5,987	△20
のれん	5,054	5,054	0
負債合計	1,684	1,596	△87
流動負債	616	696	80
非流動負債	1,067	899	△167
資本合計	5,891	6,183	291
負債及び資本合計	7,576	7,779	203

※1:のれん純資産倍率=のれん / 資本
※2:負債比率=((短期借入金+長期借入金)÷自己資本)×100
※3:Net D/E レシオ=純有利子負債 / 資本 (純有利子負債=有利子負債残高(短期借入金+長期借入金)－現金及び現金同等物(預金))
※4:Net D/EBITDA倍率=純有利子負債 / EBITDA (EBITDA(償却前営業利益)は、金利や税、減価償却費を計上する前の利益)
※5:自己資本比率=(自己資本÷総資本)×100

財務指標

	2025年 2月期末	2026年2月期 第3四半期末
のれん純資産倍率※1	0.86x	0.82x
有利子負債	1,100百万円	950百万円
負債比率※2	18.7%	15.4%
Net D / E レシオ※3	5.8%	1.1%
Net D / EBITDA倍率※4	0.49x	0.09x
自己資本比率※5	77.8%	79.5%

IFRS (国際会計基準)

セキュリティBPOサービスは、既存の全顧客・代理店に対する価格改定の実施、エンドポイントセキュリティ(VarioマネージドEDR)のライセンス増加により前年同期比で増収となりました。

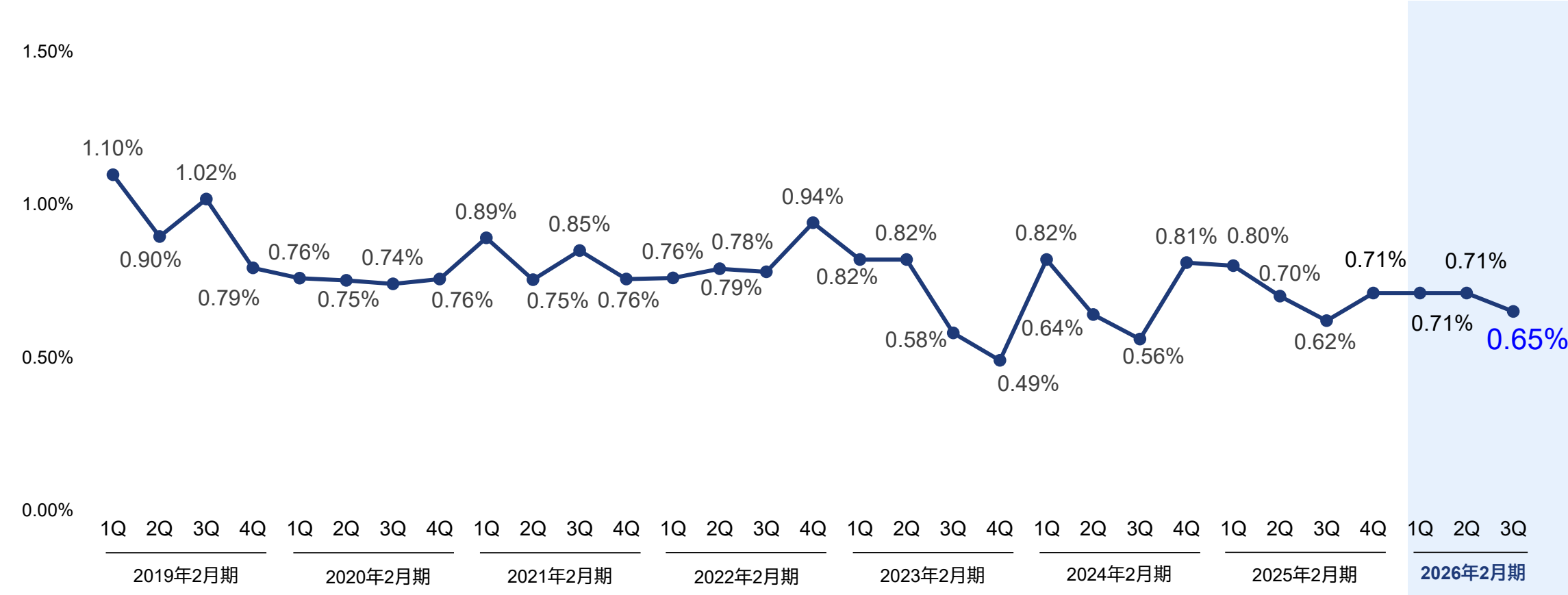
インテグレーションサービスは、中小企業向け統合セキュリティ機器販売が前年同期比で減収となりましたが、ネットワーク機器の構築を行うネットワークインテグレーションサービスが堅調に推移したことで前年同期比で増収となりました。

(百万円)	2025年2月期 第3四半期実績	2026年2月期 第3四半期実績	増減
売上収益	2,007	2,118	+5.5% (+110)
セキュリティBPOサービス※	1,755	1,859	+5.9% (+104)
インテグレーションサービス	251	258	+2.7% (+6)

※前事業年度において「マネージドセキュリティサービス」としていたサービスは、当事業年度より「セキュリティBPOサービス」に変更しております。
当該変更は名称変更のみであります。

統合型インターネットセキュリティ(セキュリティBPOサービス)の解約率※は、1%以下の低い水準で継続して推移しています。

■ 四半期解約率の推移



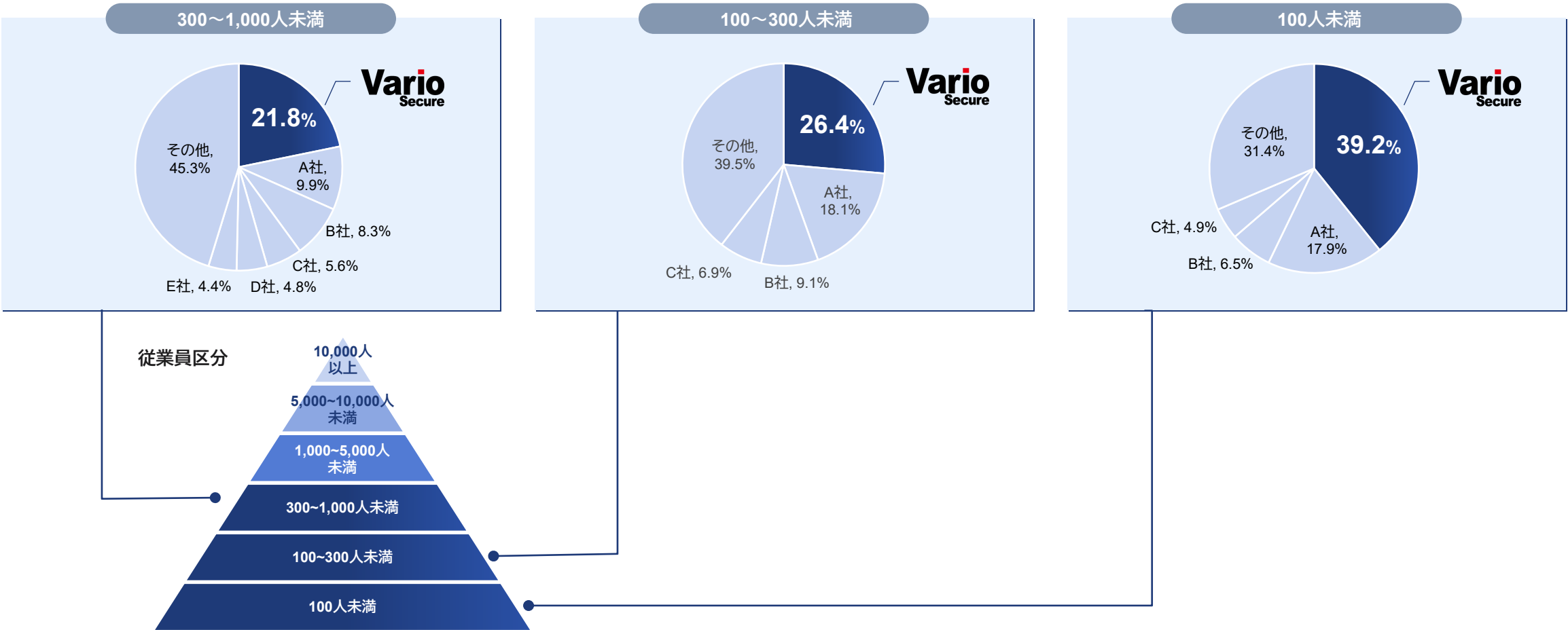
※: 解約率(金額ベース) = 四半期解約金額 ÷ (各年度の期初ベース月次売上収益 × 3ヶ月)

The background of the slide is a light blue and white gradient with a complex, futuristic circuit pattern. The circuit lines are thin and grey, with various nodes, dots, and geometric shapes like squares and circles. Some elements are highlighted in a slightly darker blue. The overall aesthetic is clean, modern, and technological.

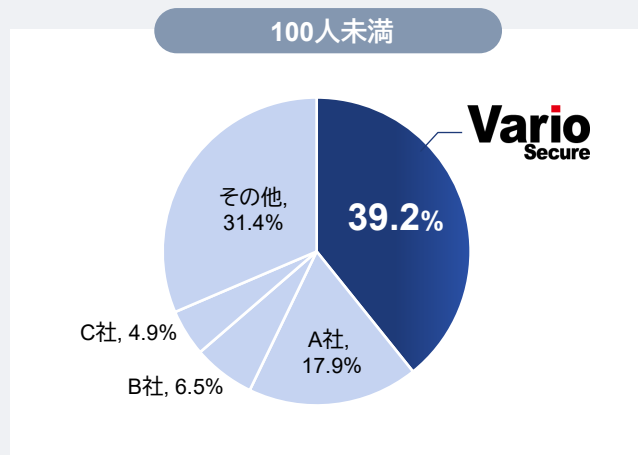
3. 事業戦略

ファイアウォール/UTM運用監視サービス市場において従業員1,000人未満の企業ではトップシェアです。

■ ファイアウォール/UTM運用監視サービス市場ベンダー別売上金額シェア(2024年度)



出所: ITR「ITR MARKET VIEW ゲートウェイ・セキュリティ対策型SOCサービス市場2025」 ファイアウォール/UTM運用監視サービス市場(2024年度)



出所: ITR「ITR MARKET VIEW ゲートウェイ・セキュリティ対策型SOCサービス市場2025」
ファイアウォール/UTM運用監視サービス市場(2024年度)

仮にこのグラフで100%のシェアを
獲得したとしても、
企業総数は**一桁万社**のレベル



国内の中小企業数を考えると
本当はプロによるセキュリティ運用を
行なうべき段階であるにも関わらず
**自社内の「ちょっとITに詳しい」という
レベルの担当者が日中の勤務時間の
範囲内でセキュリティ担当となっている**
という会社が
おそらくは

100万社以上

存在しています

このような課題を内包した中小企業をメインターゲットとして
「セキュリティBPOサービス」を展開しています

■ バリオセキュアの強み

24/365の監視・運用体制

創業以来24時間365日
顧客企業のセキュリティ対策の運用業務を
遂行してきた実績

モノ売りではなくWORKを提供

「機器・ライセンスを導入しても十分ではなく、
プロによる適切な運用管理が必須」との
実経験に基づく”WORK”の提供

日本を網羅した駆けつけ網

全国で約8,000拠点にサービスを
提供している。どの拠点でも4H以内に
オンサイト可能な保守基盤

- ・ 自社開発した**国産**セキュリティシステムをBPOの基盤として提供
- ・ BPOサービスで顧客企業をサイバー攻撃から守り切る「運用力」が強み

バリオセキュアの事業戦略

どう守るか？を知り尽くしている「運用」こそがセキュリティ対策

セキュリティBPOサービスにより
セキュリティ対策を丸投げできるサービスを提供する

Vario Ultimate ZERO



これまでの「製品を入れておけば安心」という常識はもはや通用しない

セキュリティ人材は、企業や組織の情報資産を守る重要な役割を担います。脅威が巧妙化・複雑化したことで、高度な知識やスキルを持った技術者は必須ですが、そのような人材確保は容易ではありません。しかもそのような人材が確保できたとしても、24時間/365日働き続けることができるわけではありません。

まるで常駐しているかのように、社内セキュリティ運用業務を丸投げできます

まるで常駐しているかのように

社内ネットワークセキュリティを 監視します

- 当社提供のシステムの監視を24/365で実施
- 駆け付け対応が必要な場合は、全国どこでも4時間以内にオンサイト対応を開始します

まるで常駐しているかのように

細かく専門的なセキュリティ 関連作業を実施します

- UTMのOSやセキュリティソフトのアップデート、アカウントの管理・ログの確認などを当社エンジニアが実施し、常に安心な状態を維持します

まるで常駐しているかのように

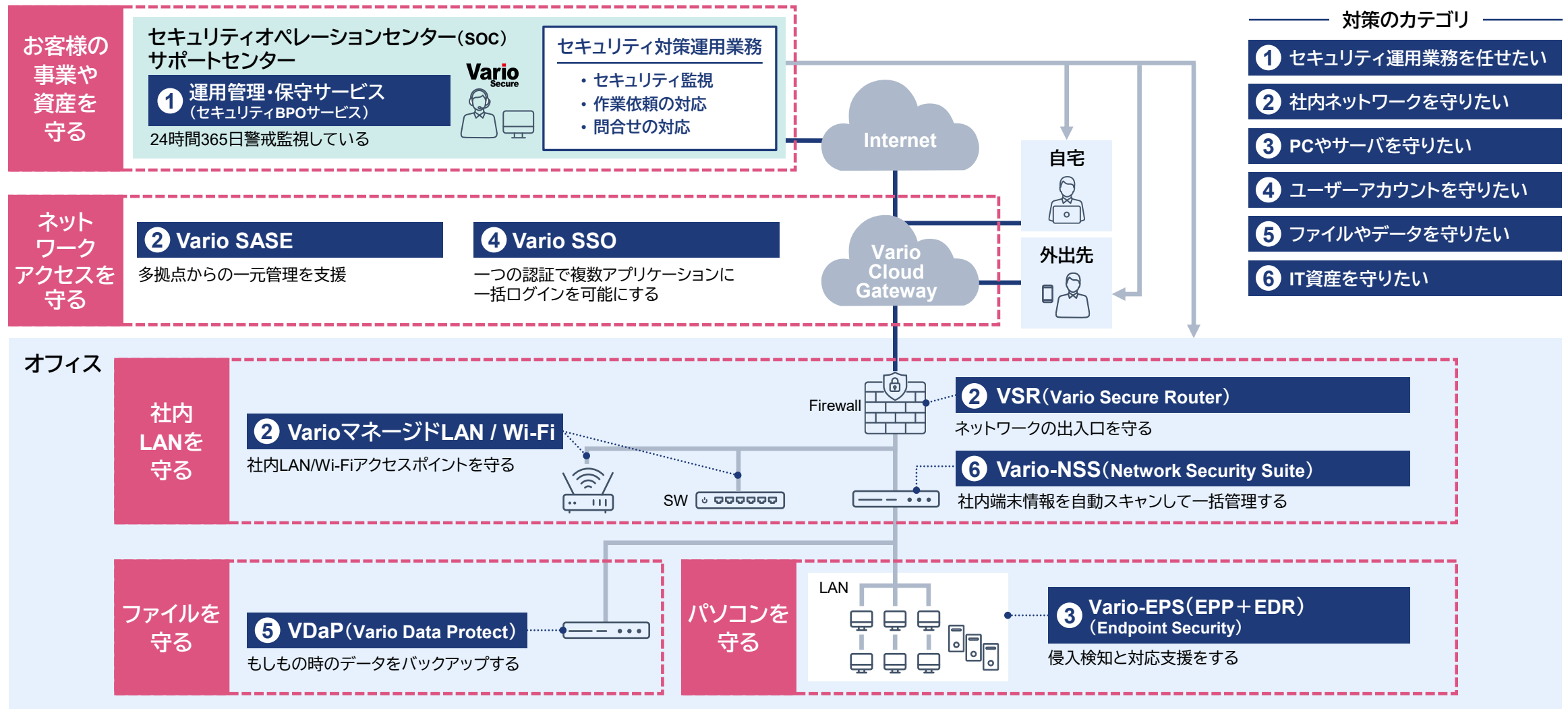
ご質問や疑問やお困りごとを 解決します

- セキュリティに関する疑問や質問に常設のサポートセンターが対応します

今までセキュリティ対策ベンダーが実現できなかった
24H365日で常駐しているかのようなセキュリティ運用をBPOとして提供します

セキュリティ対策のポイントと対策カテゴリ

バリオセキュアでは、会社全体で必要となる「守るポイント」をサービスとして取り揃えております。



中小・中堅企業100万社をターゲットにするための事業戦略

2025年7月29日発表

中堅・中小企業向け年額 99 万円のランサムウェア対策パッケージを提供開始

サプライチェーンから社内システムまで、シンプルかつ強固なセキュリティを提供します

中堅・中小企業のランサムウェアによる業務停止・信用失墜といった経営リスクに対応するランサムウェア対策パッケージを 2025 年8月 1 日より提供いたします。ランサムウェア攻撃からデータや端末を保護し、サプライチェーン全体から社内システムに至るまで事業継続を支えるため、EPP(アンチウイルス)、EDR、バックアップの製品・サービス、および 24 時間 365 日のセキュリティ監視(SOC)をまとめて提供いたします。

2025年9月24日発表

パーソルクロステクノロジー株式会社と代理店契約締結のお知らせ

両社は医療業界に特化した包括的なセキュリティサービスの提供を開始いたします。

パーソルクロステクノロジー株式会社のコンサルティング部門が提供する「セキュリティ健康診断サービス」は、医療DXの進展に伴い高まるサイバーセキュリティ対策のニーズに応えるものです。ネットワークおよびエンドポイントセキュリティの課題解決においてはバリオセキュアの専門性を活かした導入・運用・管理サービスを軸とした統合型セキュリティリユースを協業提供してまいります。

**Your NET Guardian,
alongside your invaluable Future.**

企業のネットセキュリティに伴走し、安心・安全なビジネスを支えます

Vario
Secure

- 本資料には、当社に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記載が含まれています。これらは、当社が作成時点において入手した情報に基づく、当該時点における予測等を基礎として作成されています。これらの記載は、一定の前提および仮定に基づいており、また、当社の経営陣の判断または主観的な予想を含むものであり、国内外の経済状況の変化、市場環境の変化、社会情勢の変化、他社の動向等の様々なリスクおよび不確実性により、将来において不正確であることが判明しまたは将来において実現しないことがあります。したがって、当社の実際の業績、経営成績、財政状態等については、当社の予想と異なる結果となる可能性があります。
- 本資料における将来情報に関する記載は、作成時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新を行う義務を負うものではありません。
- 本資料に記載されている当社以外の企業等に関する情報および第三者作成にかかる情報は、公開情報または第三者が提供する情報等から引用したものであり、そのデータ、指標、分析等の正確性、適切性等について、当社は独自の検証を行っておらず、何らその責任を負いません。